

# 請 求 書

契約番号 番 号

件 名										
内 訳	単位	数量	単価	金 額						
① 課 税 対 象 額 (10%対象) (小 計)										
② 消 費 税 等 相 当 額 (10%対象) (①×税率)										
③ 課 税 対 象 額 (8%対象) (小 計)										
④ 消 費 税 等 相 当 額 (8%対象) (③×税率)										
⑤ 課 税 対 象 外 の 額 (小 計)										
⑥ ①+②+③+④+⑤ 請 求 額 ※先頭に¥を記入してください。										

支出予算・科目	令和 年度	ガス事業会計
款	項	
目	節	原価区分

支 払 決 裁		
財務課長	財務係長	支払係員
審査担当課長	審査担当係長	係員 <small>(会計規程第50号に基づく審査)</small>
検 査 調 書		支払伝票番号
検収月日及び検査顛末	検 査 員	

備 考	支払済印
<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>消費税等相当額が明記されていない場合には税額を抜き出して消費税等相当額欄に記入して下さい。</li> <li>税抜き方法 請求額 × {税率 ÷ (100+税率)} = 消費税相当額 (円未満の端数は切捨て)</li> <li>課税内容をよく調査すること。</li> <li>請求額の金額及び請求日の訂正は無効です。</li> </ol>	

上記の通り請求いたします。

令和 年 月 日

仙台市ガス事業管理者 様

住 所

氏 名

適格請求書発行事業者登録番号

※令和5年10月以降は、請求者が適格請求書発行事業者である場合には、適格請求書を必ず交付ください。  
なお、本請求書のみをもって適格請求書とする場合には特段の対応は不要です。

支払方法

口 座 振 込

1. (フリガナ)  
口 座 名 義
2. 銀 行 名
3. 口 座 番 号

銀行 支店

当座, 普通 No.

## 工事請負調書(前金払、第 回部分払、完了払)

① 件 名		
② 場 所		
③ 契 約 日 令和 年 月 日		
④ 工期又は 期 間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで		
⑤ 竣 工 日 (完成日) 令和 年 月 日		
⑥ 契 約 金 額	円	
⑦ 既 成 部 分 検 査 額	円	
⑧ 出 来 高 比 率	%	⑦÷⑥小数点以下4桁まで (以下の端数切上げ)
⑨ 支 払 検 査 額	円	⑦ × $\frac{9}{10}$ ( 第2回目の部分 払時は記載不要 )
⑩ 前 金 払 支 払 額	円	
⑪ 前 金 払 出 来 高 額	円	⑩ × ⑧ ( 第2回目の部分 払時は記載不要 )
⑫ 前 回 ま だ の 部 分 払	円	
⑬ 今 回 支 払 可 能 額	円	⑨ - ⑪ ( $\frac{\text{第2回目の部分払いほ}}{\text{注4により算出する}}$ )
⑭ 今 回 請 求 額	円	

注 1 前金払のときは、①～④、⑥及び⑭を記入してください。

2 部分払のときは、①～④、⑥～⑪、⑬及び⑭の該当する部分を記入してください。

3 完了払のときは、①～⑥、⑩、⑫及び⑭の該当する部分を記入してください。

4 第2回目の部分払における⑬今回支払可能額は次の式により、備考欄で計算してください。

計算式 : 部分払金の額 ≤  $\left( \frac{\text{出来高に相応する}}{\text{請負代金相当額}} - \frac{\text{第1回部分払対象の}}{\text{請負代金相当額}} \right) \times \left( \frac{9}{10} - \frac{\text{前払金額}}{\text{請負代金額}} \right)$

備 考